

『走れメロス』

- 友情と信頼の力
  - 主人公メロス
    - 
    - 王への反逆罪で処刑
    - 友人セリヌンティウスを人質に3日間の猶予
    - 障害を乗り越えて走り続ける
  - セリヌンティウス
    - メロスを信じる
    - ⇒ 揺るぎない信頼関係
  - 王 — 二人の友情に心動かされる
- 人間の弱さと強さ
  - メロス
    - 英雄的な存在ではない
    - 弱さを見せる普通の人間
    - 
  - 弱さを示すシーン — 約束の日の前日の眠り
  - 弱さを振り切り最後まで走り続けるメロス
- 古典の現代的解釈
  - 原典
    - 古代ギリシャの伝承
    - 
    - ⇒ 太宰ならではの要素を盛り込む
  - 内面描写
    - 太宰独自のもの
    - 現代人の心情にも通じる